

令和3（2021）年さいたま市における
火災・救急・救助統計（概数）

さいたま市消防局

目 次

	頁
【火 災 発 生 状 況】	
1 火災件数について	1
2 焼損床面積及び火災損害について	2
3 死傷者について	3
4 住宅火災について	3
5 出火原因について	4
6 行政区別の火災発生件数について	4
7 月別の火災発生状況について	5
【救 急 出 場 状 況】	
1 救急出場件数について	6
2 月別の救急出場件数について	6
3 事故種別ごとの救急出場件数について	7
4 救急搬送人員について	7
5 初診時の程度別について	8
【救 助 出 場 状 況】	
1 救助出場件数について	9
2 事故種別ごとの救助出場件数について	10
3 活動件数について	11
4 救助人員について	12

令和3年火災発生状況(概数)

1 火災件数について

火災件数は300件、前年より36件増加

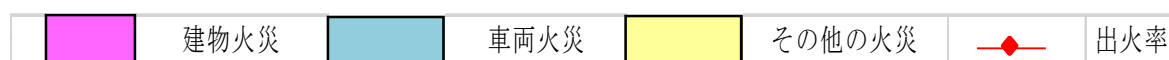
令和3年の火災件数は300件で、前年より36件増加（13.6%）となっています。

火災件数を火災種別で前年と比較すると、建物火災172件（21件）、車両火災22件（-6件）、その他の火災106件（21件）となり、車両火災は減少していますが、建物火災とその他の火災は増加しています。

【火災件数】

		令和3年	令和2年	前年増減	増減率
火 災 件 数	火災総件数	300	264	36	13.6
	建物火災	172	151	21	13.9
	住宅火災	103	91	12	13.2
	車両火災	22	28	-6	-21.4
	その他の火災	106	85	21	24.7

【過去10年の火災件数の推移】



2 焼損床面積及び火災損害について

焼損床面積及び火災損害は減少

火災により焼損した建物は228棟で、前年より20棟増加（9.6%）となっています。

焼損床面積は2,513㎡で、前年より6,273㎡減少（-71.4%）となっています。

り災世帯は169世帯407人で、前年より12世帯増加（7.6%）し、り災人員は、前年より84人増加（26.0%）となっています。

損害額は1億6,781万7千円で、前年より4億1,769万円減少（-71.3%）となっています。

【火災に伴う損害状況】

		令和3年	令和2年	前年増減	増減率
焼 損 棟 数	計(棟)	228	208	20	9.6
	全 焼	26	27	-1	-3.7
	半 焼	9	8	1	12.5
	部分焼	48	63	-15	-23.8
	ぼ や	145	110	35	31.8
り 災 世 帯	計(世帯)	169	157	12	7.6
	全 損	31	29	2	6.9
	半 損	1	9	-8	-88.9
	小 損	137	119	18	15.1
り災人員(人)		407	323	84	26.0
焼損床面積(㎡)		2,513	8,786	-6,273	-71.4
焼損表面積(㎡)		522	876	-354	-40.4
損害額(千円)		167,817	585,507	-417,690	-71.3

3 死傷者について

死傷者数は死者11人、前年より7人減少、負傷者44人、前年より1人増加
 火災による死者は11人で、前年より7人減少（-38.9%）となり、火災による65歳以上の高齢者の死者は4人で、前年より9人減少（-69.2%）、火災による負傷者は44人で、前年より1人増加（2.3%）となっています。

4 住宅火災について

住宅火災による死傷者（放火自殺者等を除く。）数は、死者4人、負傷者36人
 住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災は103件で前年より12件増加しており、住宅火災による死者は（放火自殺者等を除く。）4人で、前年より9人減少となっています。

死者（放火自殺者等を除く。）が発生した住宅火災では、死者4人全員が住宅用火災警報器未設置、又は一部設置の住宅で発生しています。

住宅火災による負傷者は36人で、前年より3人減少となっています。負傷者が発生した住宅火災では、負傷者36人のうち21人（58.3%）が住宅用火災警報器未設置、又は一部設置の住宅で発生しています。

【火災による死傷者】

	令和3年		令和2年		前年増減		増減率
死者〔放火自殺等〕（人）	11	〔7〕	18	〔5〕	-7	〔2〕	-38.9
住宅火災〔自殺〕	6	〔2〕	16	〔3〕	-10	〔-1〕	-62.5
65歳以上〔住宅火災〕	4	〔3〕	13	〔11〕	-9	〔-8〕	-69.2
負傷者〔30日死者〕（人）	44	〔1〕	43	〔0〕	1	〔1〕	2.3
住宅火災	36		39		-3		-7.7
65歳以上〔住宅火災〕	14	〔13〕	11	〔11〕	3	〔2〕	27.3

5 出火原因について

出火原因の第1位は「放火（疑い含む）」、続いて「たばこ」、「こんろ」、「電灯・電話等の配線」、「配線器具」

出火件数300件を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」74件（全火災の24.7%）、「たばこ」40件（同13.3%）、「こんろ」23件（同7.7%）、「電灯・電話等の配線」23件（同7.7%）、「配線器具」22件（同7.2%）の順となっています。

出火原因の1位「放火（疑いを含む）」、2位「たばこ」及び3位「こんろ」の順位は変動がなく、「放火（疑いを含む）」、「たばこ」、「配線器具」及び「電灯・電話等の配線」は増加し、「こんろ」は減少しています。

【出火原因上位5項】

順位	出火原因	令和3年	令和2年	前年増減
1	放火（疑い含む）	74	53	21
2	たばこ	40	32	8
3	こんろ	23	26	-3
3	電灯・電話等の配線	23	21	2
5	配線器具	22	19	3

6 行政区別の火災発生件数について

行政区別の火災発生件数の順位は、岩槻区44件、続いて緑区37件

行政区別の火災発生状況をみると、火災が最も多い行政区は岩槻区の44件で、続いて緑区の37件、見沼区の34件の順となっています。

一方、火災が最も少ない行政区は桜区の20件で、続いて北区、中央区の各25件となっています。

【行政区別火災件数】

	令和3年	令和2年	前年増減	増減率
合計	300	264	36	13.6
西区	29	14	15	107.1
北区	25	25	0	0.0
大宮区	28	28	0	0.0
見沼区	34	28	6	21.4
中央区	25	20	5	25.0
桜区	20	22	-2	-9.1
浦和区	28	42	-14	-33.3
南区	30	22	8	36.4
緑区	37	28	9	32.1
岩槻区	44	35	9	25.7

7 月別の火災発生状況について

月別の火災発生件数は、1月が40件と最も多く発生し、続いて2月が36件、12月が32件となっています。前年との増減比では、2月が89.5%で最も多くなっています。

火災を四季別にみると、最も多いのは冬季（12月～2月）の108件で、全火災の36.0%を占めており、続いて春季（3月～5月）の73件で、全火災の24.3%を占めています。

【月別火災件数】

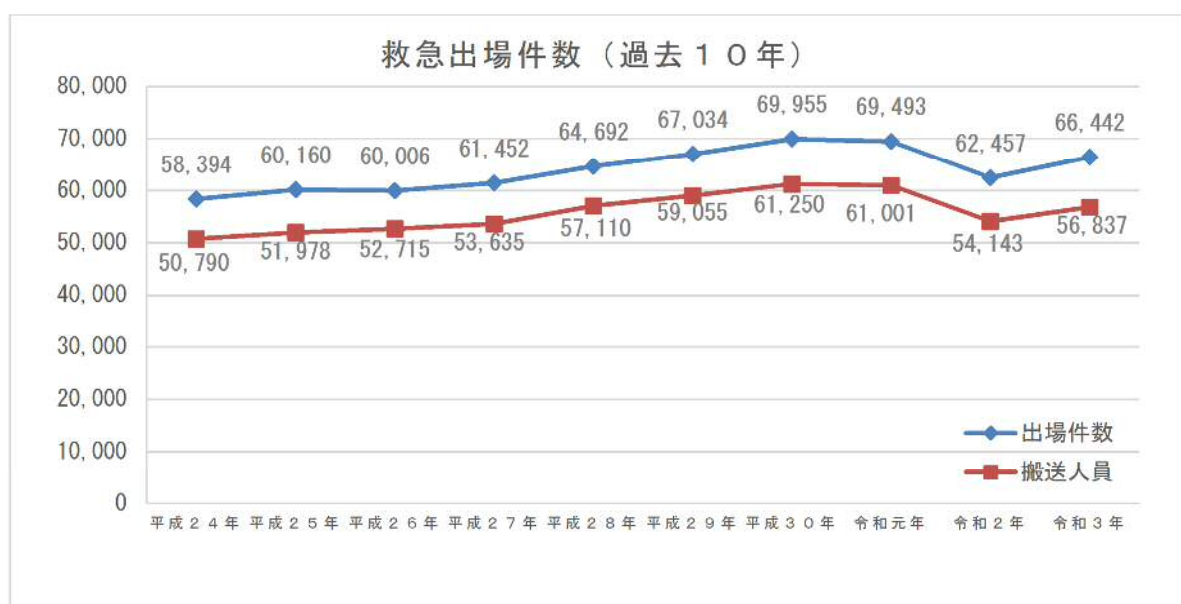
	令和3年	令和2年	前年増減	増減率
合 計	300	264	36	13.6
1月	40	24	16	66.7
2月	36	19	17	89.5
3月	31	33	-2	-6.1
4月	28	20	8	40.0
5月	14	28	-14	-50.0
6月	26	19	7	36.8
7月	24	18	6	33.3
8月	12	18	-6	-33.3
9月	15	14	1	7.1
10月	15	23	-8	-34.8
11月	27	23	4	17.4
12月	32	25	7	28.0

令和3年救急出場状況（概数）

1 救急出場件数について

救急出場件数は66,442件、前年より3,985件増加

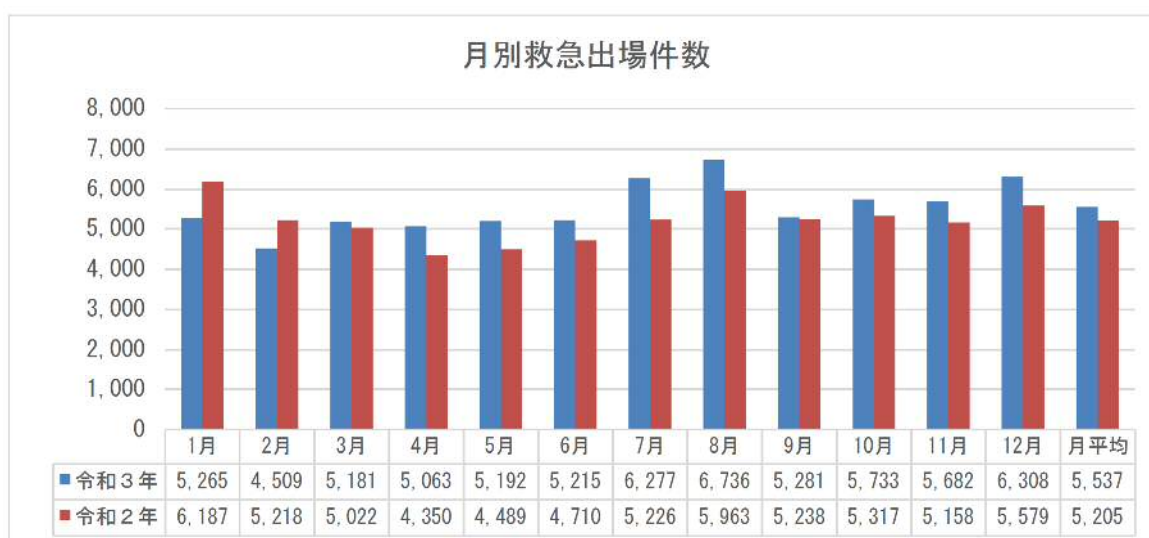
令和3年中の救急出場件数は66,442件で、前年より3,985件増加し、出場件数は約6%の増加となりました。



2 月別の救急出場件数について

月別の救急出場件数は、前年より月平均で332件増加

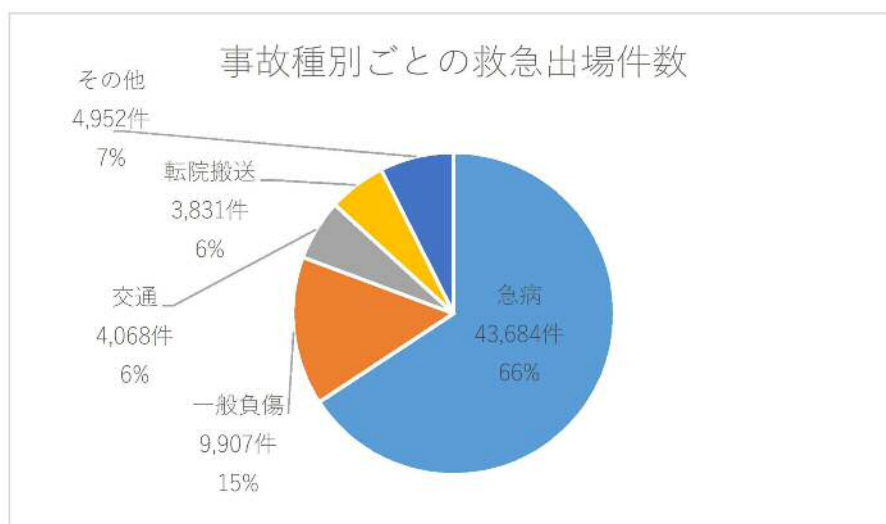
令和3年中の月別救急出場件数は、前年より月平均で332件増加しました。1月と2月については前年の出場件数から減少、3月以降は前年より増加しています。



3 事故種別ごとの救急出場件数について

最多は「急病」、続けて「一般負傷」、「交通事故」

事故種別ごとの救急出場件数で最も多いのは「急病」で43,684件（前年より2,984件増加）、次に「一般負傷」で9,907件（前年より119件増加）、「交通事故」4,068件（前年より130件増加）の順となっています。

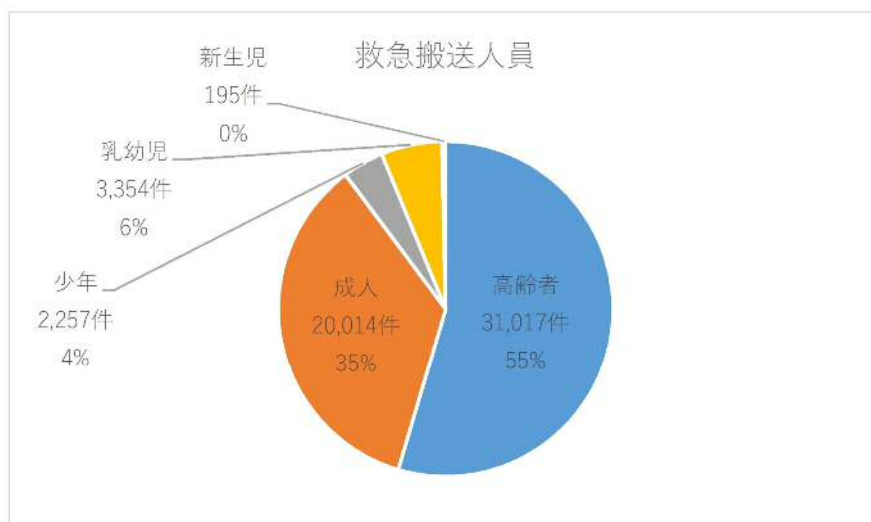


4 救急搬送人員について

救急搬送人員は56,837人、前年より2,694人増加

令和3年中の救急搬送人員は56,837人で、前年より2,694人増加し、出場件数の増加に伴って救急搬送人員も増加となっています。

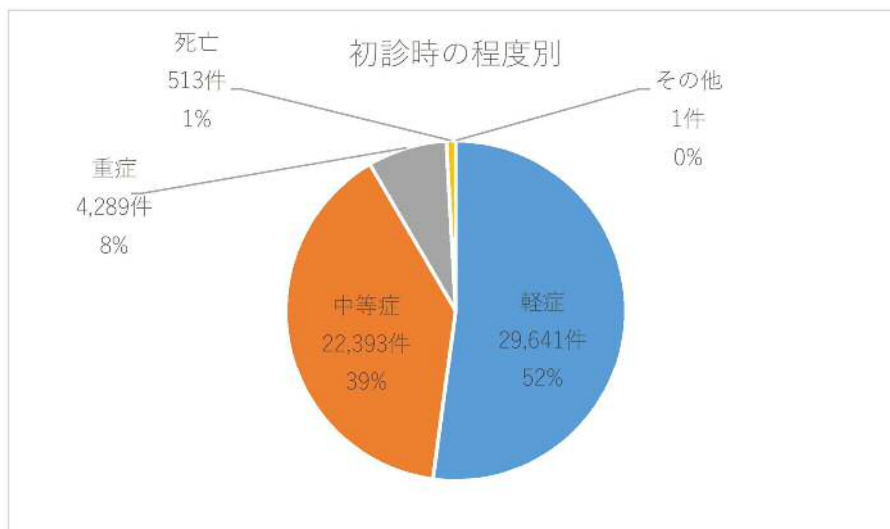
年齢区別の救急搬送人員は、新生児（生後28日未満）が195人、乳幼児（生後28日以上7歳未満）が3,354人、少年（7歳以上18歳未満）が2,257人、成人（18歳以上65歳未満）が20,014人、高齢者（65歳以上）が31,017人となっています。



5 初診時の程度別について

軽症は29,641人(全体の約52%)、重症は4,289人(全体の約8%)

医師による初診時の程度別では、軽症(入院を要しないもの)が29,641人、中等症(生命の危険はないが入院を要するもの)が22,393人、重症(生命の危険の可能性のあるもの)が4,289人、死亡が513人、その他が1人となっています。

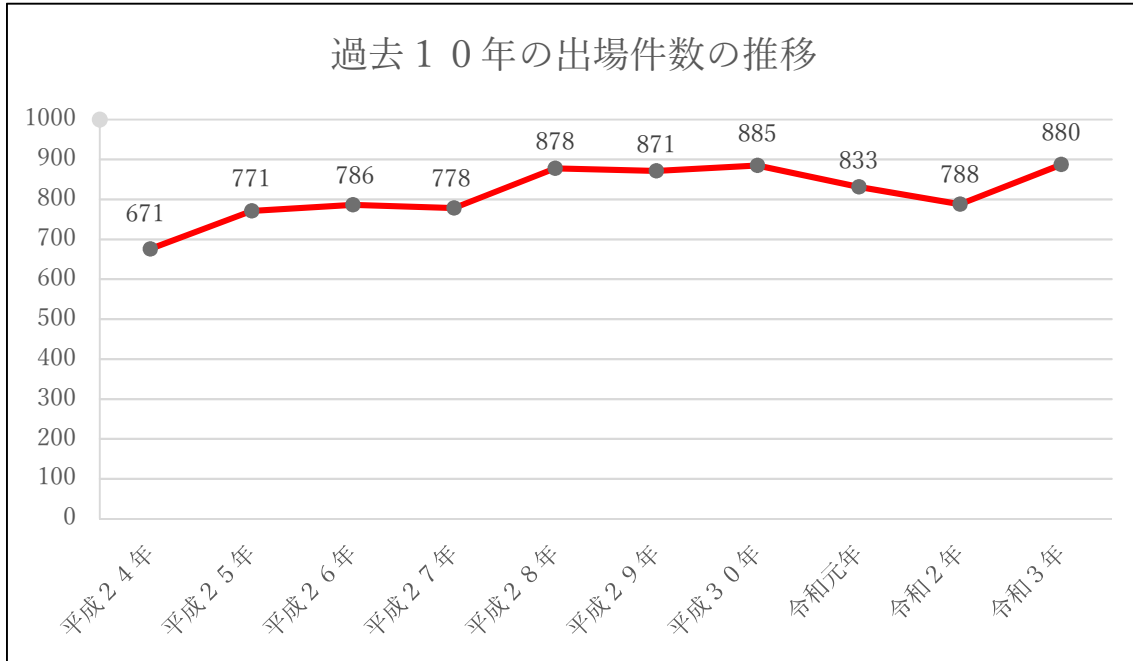


令和3年救助出場状況（概数）

1 救助出場件数について

救助出場件数は、前年に比べて増加

令和3年中の救助出場件数は880件で、前年より92件増加し、直近3年間で1番多い件数となっています。また、前年と比較すると、「建物等による事故」、「交通事故」、「その他の事故」、「火災」及び「機械による事故」の件数が増加となっています。



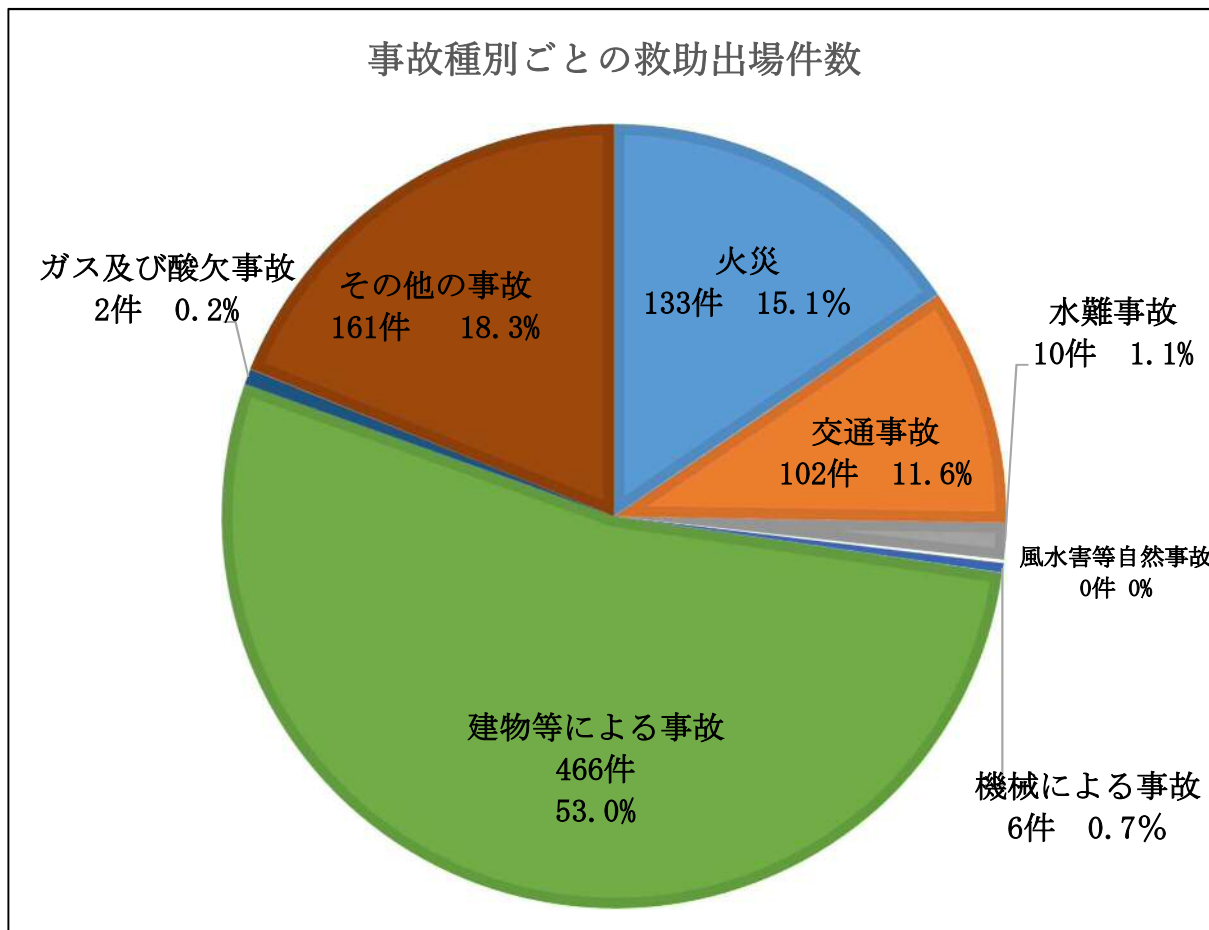
		令和3年 (速報値)	令和2年 (確定値)	前年増減	増減率	
救助 出場 件数	合計	880	788	92	11.7	
	事故 種別	火災	133	119	14	11.8
		交通事故	102	78	24	30.8
		水難事故	10	16	-6	-37.5
		風水害等自然災害事故	0	1	-1	
		機械による事故	6	3	3	1.0
		建物等による事故	466	420	46	11.0
		ガス及び酸欠事故	2	5	-3	-0.6
		破裂事故	0	0	0	
		その他の事故	161	146	15	10.3
活動件数	549	489	60	12.3		
救助人員	369	303	66	21.8		

2 事故種別ごとの救助出場件数について

最多は、「建物等による事故」466件（全体の53.0%）

令和3年中の救助出場件数のうち最も多い事故種別は「建物等による事故」466件、次いで「その他の事故」161件、「火災」133件となっています。

また、「建物等による事故」は、過去10年の事故種別ごとの出場件数において、平成24年から令和3年までの中で、最多となっています。



【過去10年の事故種別ごとの救助出場件数】

	合計	事故種別									前年増減	増減率(%)
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故		
平成24年	676	185	117	21	0	16	237	0	0	100	34	5.3
平成25年	771	166	126	21	7	6	257	0	0	188	95	14.1
平成26年	786	167	105	18	3	11	281	1	0	200	15	1.9
平成27年	778	167	93	13	10	16	302	0	0	177	-8	-1
平成28年	878	124	96	24	2	11	371	0	0	250	100	12.9
平成29年	871	152	92	15	8	10	357	0	0	237	-7	-0.8
平成30年	885	147	101	15	3	14	444	0	0	161	14	1.6
令和元年	831	113	91	19	19	13	423	0	0	153	-54	-6.1
令和2年	788	119	78	16	1	3	420	5	0	146	-43	-5.2
令和3年	880	133	102	10	0	6	466	2	0	161	92	11.7

3 活動件数について

活動件数は、前年と比べ増加

令和3年中の救助活動件数は、549件で前年と比べて60件（12.3%）増加し、出場件数の増加に伴い、活動件数も増加となっています。

【救助活動件数】

	令和3年 (速報値)	令和2年 (確定値)	前年増減	増減率
活動件数	549	489	60	12.3

【過去10年の救助活動件数の推移】

	活動件数	前年増減	増減率
平成24年	343	26	8.2
平成25年	353	10	2.9
平成26年	377	24	6.8
平成27年	385	8	2.1
平成28年	417	32	8.3
平成29年	447	30	7.2
平成30年	527	80	17.9
令和元年	529	2	0.4
令和2年	489	-40	-7.6
令和3年	549	60	12.3

4 救助人員について

救助人員は、前年と比べ減少

救助人員は、369人で前年と比べて66人（21.8%）増加し、出場件数の増加に伴い、救助人員も増加となっています。

【救助人員】

	令和3年 (速報値)	令和2年 (確定値)	前年増減	増減率
救助人員	369	303	66	21.8

【過去10年の救助人員の推移】

	救助人員	前年増減	増減率
平成24年	249	22	9.7
平成25年	258	9	3.6
平成26年	308	50	19.4
平成27年	264	-44	-14.3
平成28年	300	36	13.6
平成29年	347	47	15.7
平成30年	370	23	6.6
令和元年	398	28	7.6
令和2年	303	-95	-23.9
令和3年	369	66	21.8